

各位

既報の通り、10月6日（日）、(株)日立製作所 日立事業所 日立体育館において、日本卓球リーグ実業団連盟（JTTL） 選抜卓球大会 北関東ブロック戦が行われ、当社卓球部は見事勝ち抜き、12月14日（土）に神奈川県で行われる全国チャンピオン大会への出場を手にいたしました！

日本卓球リーグ実業団連盟（JTTL） 選抜卓球大会

<https://www.jttl.gr.jp/fukyu/>

大会当日は前日までの季節外れの暑さもどこへやら、時折雨が落ちる肌寒い天気となりましたが、試合会場はレベルの高い戦いが繰り広げられ、暑い熱気に包まれておりました。

今回のブロック戦は6チームが参加し、総当たり戦で5チームが全国大会へ出場となります。

初戦は前回大会で全国三位の成績を収めた日製日立（茨城県）チーム。

今年の全日本実業団選手権では準々決勝まで駒を進めて、準優勝チームのリコーに惜敗を喫した超強豪チーム。

初戦のダブルスはフルセットまでもつれ込んだものの、この試合を落とし、シングルス戦を奪いましたが1-3で敗戦。

第二戦の相手は昨年の全日本実業団卓球選手権において全国ベスト24の好成績を上げた栃木銀行（栃木県）でしたが、0-3で完敗。

第三戦はJR東日本高崎（群馬県）。

全日本実業団選手権ではシードに位置付けられている強豪チームへ全力でぶつかりましたが、力及ばず0-3で敗戦。

そして運命の第四戦。

高レベルな出場チームの中でも、比較的实力が伯仲しているのが今回の相手、本田技研工業（栃木県）です。

この試合に勝てば全国大会への切符が手に入りますが、逆に負けると全国が遠のく大一番です。

第一試合はダブルス。吉村選手・小口選手組で先手必勝を狙いますが、フルセットの末、落としてしまいます。



第二試合はシングル戦。小口選手がダブルスの疲れも見せずフルセットの死闘を見事制し、1-1に。



第三試合は渡辺選手が善戦空しく敗戦し、1-2と後がなくなりました。



しかしここからが当社卓球部の面目躍如。追い詰められた状況でもその実力を発揮します。第四試合は吉村選手が接戦を見事制し、2-2のタイに。



第五試合は満を持して登場の黒川選手がセットを取らせない圧倒的な強さを発揮し、快勝！



結果、3 - 2で見事な逆転勝利を手にいたしました。



第六試合は全国大会常連で全日本実業団選手権でも決勝トーナメントに進出している、鶴谷病院（群馬県）との対戦でしたが、激闘の疲れもあり残念ながら1－3で敗戦となりました。

結果、1勝4敗でブロック5位となり、全国チャンピオン大会への切符を見事手にいたしました。

各位の応援に感謝し、チームは次なる戦いへの準備に入ります。

引き続き応援よろしく願いいたします！